



マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページにバックナンバー掲載中

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...

チャレンジ

4月号 MAR 2020

<http://www.maruto-shoji.co.jp>

玉葱の力で世界を救う?!

世界の情勢が大きく動いています。新型コロナウイルスと人類との闘いという規模になってきました。世界の主要都市では都市封鎖が実施されています。命を守る行動が第一優先事項となり、経済活動含め不要不急以外は自粛をすることが求められています。戦時下の様相を呈してきました。

そんな中、東京オリンピック2020が1年を目途に延期となりました。賛否はあるかと思いますが、現在の世界の状況と日本の状況を考えれば、やむを得ない選択であると私個人は思います。今はいかに新型コロナウイルスを抑えるかということが最優先事項です。最近よくいわれますが、3密、密閉、密集、密接、するような機会を避ける行動を一人一人が意識的に行うことが本当に大切であると思います。終息を願いつつ、自分ができることを積極的に行っていきたいと思います。

こんな時であるからこそですが、我々が取り扱う玉葱を中心とした野菜の力で世の中を元気にできないかと考えています。玉葱も免疫力を高めるパワー食材であると思います。何かお役立ちできるようなことを考えて行動していきたいと思います。

玉葱は現在府県産の新玉葱が出始めました。加工向けには北海道産が主力です。北海道産は計画通り貯蔵がされており、しばらく問題なく流通します。原料品位を確認しながら進めて参ります。供給量は今期全く問題ない量の確保が可能ですので、どんどんご使用頂けますようお願い致します。

社内改善研修

マルト商事では各現場で改善活動を推進しています。その一環で全体会議において改善研修を行いました。今回はチーム対抗でA4の紙30枚を使用し、できるだけ高く積み上げるという課題に取り組みました。5分間の打ち合わせ、実践、5分間の反省並びに改善検討、実践という流れです。それぞれのチームが特色がある方法で進めていたのが印象的でした。

今回の研修では「改善」をどのように進めるべきなのか、という流れを皆が経験することを目的としました。1人ではなく、チームでということも大切です。その上でPDCAの流れを感じることができた研修だと思えます。実際の持ち場でも今回の研修で学び、感じたことを活かしてお客様の為により良い商品を提供できる体制ができれば良いと思います。今日より明日が少しでも良くなるように!



周年表彰

3月23日。マルト商事において周年表彰が行われました。3月22日がマルト商事の設立記念日となっています。マルト商事は38年目に入りました。ひとえに皆様のご支援があつてのことです。感謝申し上げます。

その中で、今年は勤続5年表彰対象者が3名と勤続20年表彰対象者が1名となりました。勿論会社はお客様のご支援あつての存在ではありますが、優秀な従業員がいなければ存続できません。長きに渡って当社の業務に貢献してくれたメンバーを表彰することができました。ありがたく思っています。

マルト商事全従業員一丸となつてお客様の為に業務を推進して参ります。



勤続20年表彰 越後 悦子

勤続5年表彰 河田 智淑 池田 由美華 塩谷 優一

“食”の分野で役立つマーケティング情報

この原稿を書いているいまも、新型コロナウイルスの猛威は納まる気配がありません。自分の周りでもマスクや消毒液はあいかわらず店頭にありますし、トイレットペーパーもほとんどみかけません。こんな状況を目にするとやはり不安ですが、できることをきちんと続けるということしかありませんね。不要不急の外出は控えて、うがい、手洗いをこまめに行う。バランスのとれた食事や適度な運動、十分な睡眠も大切です。

それでも、近いうちには新型コロナウイルスも納まるとは思っています。新型コロナウイルスは紫外線と熱に弱いといわれていますし、太陽光には紫外線が含まれ熱をもたすので、5月から6月ごろになると気温も上がり紫外線も多く増えるので、その頃になればだいぶ日常に戻るかなという予想はしています。あくまで個人の希望的観測ではありますが、そこで今回は新型コロナウイルスがこれからのビジネスに与える影響をすこし考えてみたいと思います。

ひとつは働き方の見直しが加速度的に進むということ。私の周りでも在宅でテレワークをしている方が多いです。満員電車による通勤の苦痛から解放されたという声や会社に行かなくても仕事ができるということの発見などの声をよく聞きます。「仕事とは会社に来たからやるものだ」とか「会議はやはり顔を見て話さなければできない」などのあまり合理的な根拠のない慣習を理由に進まなかったものが、新型コロナウイルスの感染拡大で在宅勤務を多くの人が経験し、できるということに気付いたことは大きな変化です。

次は医師によるオンライン診療や薬剤師によるオンライン服薬指導が大きく進むのではないかとということです。日本ではまだ幸いにも欧米に比べ医療崩壊のようにはなっていません（もちろん医療現場の状況は深刻だと言われています）。これまで日本では「初診は対面診察」などの制約がありオンライン診療が進んでいませんでしたが、新型コロナで慢性疾患患者と新型コロナに感染の疑いがある人に限定されるもののオンライン診療を厚生労働省が認めました。海外ではオンライン診療などできめ細かく患者に向き合うのは当たり前だったのに、その必要性がようやく認められてきたようです。

新型コロナがこれからどうなるかまだわかりません。新型コロナ以前の社会にはもうも戻れないと思いますし、社会の変化にともなってビジネスも変わっていくでしょう。ただ変わるだけでなく、さきにとりあげた在宅勤務とオンラインによる医療の可能性は、新型コロナによるピンチを逆にチャンスに変えるようなきっかけにもなりうるかもしれません。そういう新しい希望を抱きながら、春を迎えたいと思っています。



木下康司 きのしたこうじ

1966年生まれ。キノ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役。

デザインとコミュニケーションの力を使い商品やサービスの価値を高めてブランド力を作り出すことに取り組み続けている。

<http://www.kino-company.com>

4月 玉葱商品産地情報

産地		状況
国産黄玉葱	北海道	品質・量、安定した入荷が続いています
輸入黄玉葱	NZ	予定入荷のみとなっています
中国剥き玉葱	甘肅省 雲南省	品質・量、安定しました 今後も入荷は予定通りの見込みです
国産赤玉葱	北海道	品質・量、安定した入荷が続いています
輸入赤玉葱	NZ	予定入荷のみとなっています

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。

お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315